

平成21年度病性診断一覧

20No	番号	台No	家保	受付月日	畜種	戸数	頭数	検体数	品種	月齢	畜主氏名	住所	依頼者	氏名	検査依頼内容	診断名	回答年月日	備考(材料等)
91	91	診21-91	宮崎	H21.11.2	豚	1	30	30	LWD	90,120		川南町			PRRS、PCV2のPCR検査希望	PRRSのPCR(+)2/67-8(90日齢のみで+)、PCV2のPCR(-)0/67-8、PRRS抗体(+)、AD抗体(-)	2009.11.16	血清30(PCR用は67-8)
94	94	診21-94	宮崎	H21.11.20	牛	1	10	20	黒和	1~5月齢		国富町			発育不良牛の生化学検査希望	詳細は別紙(β ₂ -ミクログロブリンは全体的に低値、γ ₂ ミグロブリンは基準値以下が多い)	H21.12.14	全血10、血清10
95	95	診21-95	宮崎	H21.11.25	牛	1	1	1	黒和	46日齢	農業大学校	高鍋町	農業大学校	坂元准教授	下痢の原因究明	不明(有意菌の検出なし)	H21.12.14	血清10
97	97	診21-97	宮崎	H21.12.1	豚	1	2	2	LW	5ヵ月齢		西都市			下痢、菌の同定と薬剤感受性	豚サルモネラ症(<i>Salmonella Typhimurium</i> 分離)	H21.12.7	下痢便1
99	99	診21-99	宮崎	H21.12.4	牛	1	1	1	ホルス	3歳		宮崎市			B.L.V検査	B.L.V(-)0/1頭(ゲル沈(-))	H21.12.15	下痢便2
105	105	診21-105	宮崎	H21.12.15	牛	3	15	30	ホルス	成年		串間市			B.L.V検査	B.L.V(-)0/1頭(ゲル沈(-))	H21.12.6	血清1
102	102	診21-102	宮崎	H21.12.16	牛	1	1	3	黒和	6歳		日南市			127-102牛の血液生化学検査	詳細は別紙のとおり(昨年よりHt、ALB、BUN、AST、FFAの数値が改善)	H21.12.28	全血、血清15(13項目)
106	106	診21-106	宮崎	H21.12.25	牛	2	4	4	黒和	1~3月齢		宮崎市			B.L.V検査	B.L.V(+)/1頭 異型リンパ球多数確認	H21.12.18	血清、全血、血液塗抹
107	107	診21-107	宮崎	H22.1.5	牛	1	9	12	黒和	2~5月齢		綾町			BHB濃度の測定	BHB濃度は、83~159μmol/lと低値のため、第一胃の発育遅延を疑う	H22.1.8	子牛の第一胃の発育状況の確認
109	109	診21-109	宮崎	H22.1.6	豚	1	15	30	LWD	130,190		川南町			PRR、フリン濃度の測定(発育不良)	血中チアミン濃度は、正常値(23.7~52.4)、BHB濃度は1頭が低値	H22.1.25	血清3、全血9
108	108	診21-108	宮崎	H22.1.7	牛	1	1	2	黒和	3ヵ月齢		宮崎市			127-108豚の血中β ₂ -ミグロブリン測定	焼酎粕含有量が多い飼料を給与した群でビタミンE濃度が高い傾向あり	H22.2.10	血清30
110	110	診21-110	宮崎	H22.1.20	牛	1	1	2	黒和	8歳		串間市			血中チアミン濃度の測定	大腸菌汚染死産は否定(血中チアミン濃度は35.8ng/mlと基準値内)血中γ ₂ -2濃度も上昇	H22.1.25	全血1、血清1
111	111	診21-111	宮崎	H22.1.20	牛	17	19	38	黒和	胎子(24)		中部・北			B.L.V検査(塗抹とゲル沈)	B.L.V(+)/1頭、異型リンパ球確認はなし	H22.1.22	血清1、全血1
119	119	診21-119	宮崎	H22.1.20	牛	3	30	30	黒和	繁殖牛		西米良村			体形異常のない胎子死の原因究明	詳細は別紙のとおり(既知の異常産肉関係は2頭の問は否定)	H22.2.15	死亡胎子及び母牛の血清19組
120	120	診21-120	宮崎	H22.1.22	豚	1	15	15	LW	母豚		都城市			127-120豚の血液生化学検査	A農場:V.E不足の牛を産見、B農場:全体的に蛋白不足、胆道系の障害も、C農場:異常なし	H22.3.12	血清30(13項目)
115	115	診21-115	宮崎	H22.1.27	牛	1	1	1	黒和	6日齢		都城市			127-115豚の血中β ₂ -ミグロブリン測定	血中V.E濃度(72~224μg/dl)	H22.3.12	血清15
116	116	診21-116	宮崎	H22.1.28	牛	1	1	2	ホルス	6歳	農業大学校	高鍋町	農業大学校	坂元准教授	子牛の下痢多発の原因究明	牛ロタウイルスPCR(+)、ロタウイルス簡易検査(+)、大腸菌は病原因子なし	H22.2.2	下痢便1
122	122	診21-122	宮崎	H22.2.1	牛	1	2	6	黒和	5日齢		川南町			乳房炎検査	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> (緑膿菌)による乳房炎の疑い、他にCNS(37℃で陰性)ブドウ球菌	H22.3.1	乳汁2
123	123	診21-123	宮崎	H22.2.2	牛	1	61	61	黒和	種雄牛		高鍋町			子牛の下痢多発の原因究明	9/11と9/12(+) 2/2頭、9/12(+)のPCR(+) 1/2頭、大腸菌は病原因子なし	H22.3.23	下痢便2、前後血清2組
124	124	診21-124	宮崎	H22.2.2	牛	3	15	30	ホルス	控乳牛		串間市			種雄牛の血液生化学検査	全頭でB.L.V(-)、ヨネネ病(-) 血液生化学検査結果は、別紙のとおり	H22.3.26	血清61
125	125	診21-125	宮崎	H22.2.5	牛	1	2	2	黒和	11,14歳		清武町			127-125牛の血液生化学検査	詳細は別紙(水谷:白血球数が多い、野辺:特に異常なし、清水:蛋白不足、肝機能障害)	H22.3.30	全血15、血清15
127	127	診21-127	宮崎	H22.2.8	牛	1	1	3	黒和	7日齢		川南町			母牛の血液生化学検査	血液検査結果から細菌性の慢性炎症を疑う(詳細は別紙のとおり)	H22.2.10	血清2
128	128	診21-128	宮崎	H22.2.15	牛	1	1	3	黒和	5ヵ月齢		高鍋町			子牛の下痢多発の原因究明	ロタウイルスのPCR(+)、9/11と9/12(+)は(-)、大腸菌は病原因子なし	H22.3.23	下痢便1、前後血清1組
129	129	診21-129	宮崎	H22.2.16	牛	1	1	4	ホルス	0日齢		串間市			子牛の舌のび爛、潰瘍の原因究明	不明(牛エンテロウイルスと考えられるウイルス分離)	H22.4.14	血清1、糞便1、舌の潰瘍組織1
130	130	診21-130	宮崎	H22.2.16	牛	1	1	3	黒和	4日齢		川南町			死産、奇形児	既知の異常産肉連ウイルスの抗体の保有なし(死産胎子)	H22.3.9	母子血清1組、母子全血1組
131	131	診21-131	宮崎	H22.2.17	牛	1	1	1	黒和	11ヵ月齢		木城町			子牛の下痢多発の原因究明	不明(9/7、9/1、BVD、20、9/11と9/12、寄生虫(-)、大腸菌は病原因子なし)	H22.3.23	下痢便1、前後血清1組
139	139	診21-139	宮崎	H22.2.19	牛	3	12	12	ホルス	6月~8歳		串間市			眼の周囲の腫脹(B.L.V検査)	B.L.V(-) 0/1頭	H22.2.19	血清1
135	135	診21-135	宮崎	H22.2.23	牛	1	1	2	黒和	5ヵ月齢		新富町			B.L.V検査(加温初乳試験)	B.L.V(+) 成年4頭、(±) 成年1頭、子牛5頭及び成年牛2頭(-)	H22.2.22	血清(成年7、子牛5)
136	136	診21-136	宮崎	H22.2.23	牛	1	1	2	黒和	2ヵ月齢		高鍋町			難治性の下痢の原因究明	不明(9/7、9/1、BVD、コロナ(-))	H22.4.8	下痢便1、血液1
137	137	診21-137	宮崎	H22.2.23	牛	1	1	3	黒和	6日齢		都城市			難治性の下痢の原因究明	不明(9/7、9/1、BVD、コロナ(-))	H22.4.8	下痢便1、血液1
140	140	診21-140	宮崎	H22.2.25	牛	1	9	9	ホルス	3~9歳		串間市			子牛の下痢多発の原因究明	不明(寄生虫、9/7、9/1、BVD、20、9/11と9/12、分譲大腸菌に病原因子検出なし)	H22.3.23	下痢便1、前後血清1組
141	141	診21-141	宮崎	H22.3.4	牛	1	1	1	黒和	5日齢		都城市			乳房炎検査、薬剤感受性試験	96号(黄色ブドウ球菌による伝染性乳房炎)、他8頭は、環境性乳房炎	H22.3.15	乳汁9
143	143	診21-143	宮崎	H22.3.4	豚	1	15	15	LW	母豚		都城市			子牛の下痢多発の原因究明	不明(寄生虫、9/7、9/1、BVD、20、9/11と9/12、分譲大腸菌に病原因子検出なし)	H22.3.24	下痢便1
144	144	診21-144	宮崎	H22.3.5	牛	1	30	30	黒和	繁殖牛		西米良村	児湯農林振興局	岡田主任技	127-144豚の血中β ₂ -ミグロブリン測定	焼酎粕給与でビタミンEが増加傾向	H22.4.19	血清15
142	142	診21-142	宮崎	H22.3.11	牛	1	1	1	黒和	6歳		木城町			127-142牛の血液生化学検査	127-142牛の血液生化学検査	H22.4.20	血清30(13項目)
147	147	診21-147	宮崎	H22.3.15	牛	1	1	1	黒和	11日齢		都城市			B.L.V検査	B.L.V(-) 0/1頭	H22.3.17	血清1
150	150	診21-150	宮崎	H22.3.18	牛	1	1	1	ホルス	4歳		串間市			子牛の下痢多発の原因究明	分譲大腸菌からeaeA遺伝子を検出(AEECの原因となりうる)(寄生虫、9/7、9/1、20、BVD)	H22.3.23	下痢便1
151	151	診21-151	宮崎	H22.3.24	牛	1	30	30	黒和	成年		西米良村	児湯農林振興局	岡田主任技	B.L.V検査(胸部に腫瘍)	B.L.V(+) 1/1頭	H22.3.31	血清1
152	152	診21-152	宮崎	H22.3.31	牛	1	1	1	黒和	5日齢		日南市			127-152牛の血液生化学検査		H22.4.20	血清30
153	153	診21-153	宮崎	H22.3.31	水牛	1	4	12	水牛	成年		都城市			子牛の下痢の原因究明	不明(9/7、9/1、BVD、20、全て陰性)	H22.4.20	下痢便1
															水牛の発熱、下痢	不明	H22.4.21	血清4、糞便4、鼻液17、4

平成22年度病性診断一覧

2020年	母牛	台NO	家保	受付月日	荷種	戸数	頭数	検体数	品種	月齢	畜主氏名	住所	依頼者	氏名	検査依頼内容	診断名	回答年月日	備考(材料等)
1	1	診22-1	宮崎	H22.4.2	牛	1	1	1	黒毛和牛	10日齢					下痢の原因究明	ロタ・アデノウイルスキット：ロタ (+)、免疫検査：虫卵 (-)、コサシ、クワアトニスト (-)	2010.4.5	糞便 1
2	2	診22-2	都城	H22.4.5	豚	1	7	7	LY	8~9ヵ月		小林市			PRRSのPCR検査	PRRSウイルス遺伝子検出 (RT-PCR) : 5検体陰性	2010.4.14	血清 5 検体
3	3	診22-3	宮崎	H22.4.6	豚	1	145	145	ランドレーズ	8ヵ月齢	吉武川南文雄	川南町	吉武川南文雄	岩切科長	PRRSsライズ 及び PCR	PRRS抗体検査 : 143頭抗体陽性、PCR検査 : 1頭陽性	2010.4.5	血清 : 145検体
4	4	診22-4	宮崎	H22.4.9	牛	1	4	4	黒毛和牛			都農町			セレン測定	口蹄疫発生により全頭処分		血清 : 4検体
5	5	診22-5	宮崎	H22.4.9	牛	1	1	3	黒毛和牛			都農町			上唇、舌の口腔の原因究明	口蹄疫	2010.4.20	唾液、よだれ、血清
6	6	診22-6	宮崎	H22.4.9	牛	1	1	1	黒毛和牛	10ヵ月齢		宮崎市			BLゲル沈、血液検査	BLゲル沈 (-)、RBC:786万、WBC:8100、Ht:30.2、異形リンパは認めず	2010.4.12	血液 : 1検体
7	7	診22-7	都城	H22.4.12	牛	1	1	0	ホルスタイン	6歳		高原町			乳房炎由来菌株の同定	Sphingomonas paucimobilis同定、薬剤感受性結果報告	2010.12.4	菌株 : 6 検体